

## 普及現地情報



発信年月日：令和4年(2022年) 10月20日  
所属名：湖北農産普及課  
番号：G22017  
部門分類：425（集落営農）  
発信者名：兼房（米原市担当）

### 「集落営農を次世代へつなぐ研修会」を開催！

10月13日、当課と米原市、JAレーク伊吹との共催により、令和4年度「集落営農を次世代へつなぐ研修会」を開催しました。この研修会は、米原市山東地域の集落営農組織を対象として、集落内での次世代人材の確保だけでなく、次世代が不在の集落では大規模農家との連携を誘導することで、地域の営農活動が継続されることをねらいとしており、全3回の連続講座を計画しています。第1回目となる今回は、集落営農6組織13名、関係機関職員を含め合計26名の参加となりました。

講師には農業・農村活性化サポートセンターから大阪経済大学の山本公平教授を招き、前半は集落営農組織の現状や課題、展望について講演いただきました。その中で、他県のアンケートでは集落営農の次期リーダー候補となる人材の確保が難しい要因として「議論がされていない」と答えた組織が5年前より3割増加していることを紹介され、組織での話し合いを行うことが重要で、今後は組織内だけでなく新規就農者や大規模農家との連携も検討していく必要があると話されました。

後半は、集落ごとに、従事する人材を具体的に年代別に棚卸し、組織内外にどのような人材が埋もれているか洗い出すワークショップを行いました。当課普及指導員や米原市職員、JA 営農指導員もワークショップに加わって、話し合いをサポートしました。

当課では、今後2回の研修会を踏まえ、各集落営農組織での人材確保や担い手間の連携の方向性が導き出せるよう、引き続き関係機関で連携し支援していきます。



山本教授より山東担い手の状況を説明



ワークショップをサポートする普及指導員